

専任教員の実務経験

氏名	資格・実務経験	教育科目
小濱 公次	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師 養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加	東洋医学概論 メディカルトレーナー概論・実技 病理学 生理学Ⅱ(旧) はり・きゅう総合Ⅱ(旧) はり・きゅう総合Ⅴ(旧)
住吉 光輝	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 アロマコーディネーター 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 全日本鍼灸マッサージ師会 正会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 正会員	はり・きゅう理論Ⅰ 経絡経穴概論Ⅰ 基礎はり実技 アロマセラピー概論・実技 はり・きゅう理論Ⅱ 経絡経穴概論Ⅱ 臨床はり・きゅう実技Ⅱ 東洋医学臨床論Ⅲ(旧) 臨床実習(旧)
原 奈摘美	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 アロマコーディネーター 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 全日本鍼灸マッサージ師会 正会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 正会員	衛生学 基礎きゅう実技 アロマセラピー概論・実技 東洋医学臨床論Ⅰ 臨床はり・きゅう実技Ⅱ 臨床実習(旧) はり・きゅう総合Ⅰ(旧) はり・きゅう総合Ⅱ(旧)
崎野 雄樹	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加	臨床医学総論Ⅰ メディカルトレーナー概論・実技 臨床医学総論Ⅱ リハビリテーション医学 生態観察 臨床はり・きゅう実技Ⅰ(トリガーポイント療法) 解剖学Ⅱ(旧) 病態生理学(旧) はり・きゅう総合Ⅱ(旧)
益山 智哉	はり師・きゅう師 はり師きゅう師養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 週1回学外臨床参加 日本鍼灸師会 正会員 鹿児島県鍼灸師会 正会員	生理学Ⅰ 応用はり・きゅう実技Ⅰ 関係法規(旧) 社会保障制度と倫理(旧) はり・きゅう総合Ⅱ(旧)
保坂 秀樹	あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師 養成施設教員資格 病院または施術所における臨床5年以上 全日本鍼灸マッサージ師会 正会員 鹿児島県鍼灸マッサージ師会 正会員	東洋医学臨床論Ⅱ 応用はり・きゅう実技Ⅱ 臨床医学各論Ⅱ(旧)

はり・きゅう学科(2年生)

専門課程(医療分野)

教育課程及び授業時数									
分野・区分		科目	規定 単位	計 画 単位(時間)	1学年 単位(時間)	2学年 単位(時間)	3学年 単位(時間)	実務	
基礎 分野	科学的思考の基盤 人間と生活	医療心理学 *1	14	2(30)	2(30)				
		情報科学概論		2(30)	2(30)				
		医療英語		4(60)	4(60)				
		保健体育		2(60)	2(60)				
		経営学概論		4(60)	4(60)				
小 計			14	14(240)	14(240)				
専 門 基 礎 分 野	人体の構造と機能	解剖学Ⅰ	12	4(120)	4(120)				
		解剖学Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
		生理学Ⅰ		4(120)	4(120)			○	
		生理学Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
		人体構造学		1(30)		1(30)			
		運動学		1(30)		1(30)			
	疾病の成り立ち、 予防及び回復の促進	病理学	12	2(60)		2(60)		○	
		臨床医学総論Ⅰ		1(30)	1(30)			○	
		臨床医学総論Ⅱ		1(30)		1(30)		○	
		臨床医学各論Ⅰ		2(60)		2(60)			
		臨床医学各論Ⅱ		2(60)			2(60)	○	
		リハビリテーション医学		2(60)		2(60)		○	
	保健医療福祉と はり及びきゅうの理念	関係法規	3	1(30)			1(30)	○	
		医療概論		1(30)			1(30)	○	
		社会保障制度と倫理		1(30)			1(30)	○	
	小 計			27	29(870)	11(330)	9(270)	9(270)	
	専 門 分 野	基礎はり学 基礎きゅう学	はり・きゅう理論Ⅰ	9	1(30)	1(30)			○
			はり・きゅう理論Ⅱ		1(30)		1(30)		○
東洋医学概論			4(120)		4(120)			○	
経絡経穴概論Ⅰ			2(60)		2(60)			○	
経絡経穴概論Ⅱ			2(60)			2(60)		○	
臨床はり学 臨床きゅう学		病態生理学	13	1(30)			1(30)	○	
		生態観察		2(60)		2(60)		○	
		東洋医学臨床論Ⅰ		4(120)		4(120)		○	
		東洋医学臨床論Ⅱ *2		4(120)		4(120)		○	
社会はり学 社会きゅう学		東洋医学臨床論Ⅲ	2	2(60)			2(60)	○	
		はり・きゅう応用学		2(60)		2(60)			
実 習		基礎はり実技	15	2(60)	2(60)			○	
		基礎きゅう実技		2(60)	2(60)			○	
		応用はり・きゅう実技Ⅰ		2(60)		2(60)		○	
		応用はり・きゅう実技Ⅱ		2(60)		2(60)		○	
		臨床はり・きゅう実技Ⅰ(トリガーポイント療法)		2(60)		2(60)		○	
		臨床はり・きゅう実技Ⅱ *3		4(120)		4(120)		○	
臨床はり・きゅう実技Ⅲ(古典鍼灸)		2(60)			2(60)	○			
臨 床 実 習		臨床実習	4	4(180)			4(180)	○	
総 合 領 域		はり・きゅう総合Ⅰ	10	1(30)			1(30)		
		はり・きゅう総合Ⅱ		1(30)			1(30)	○	
	はり・きゅう総合Ⅲ	1(30)				1(30)	○		
	はり・きゅう総合Ⅳ	1(30)				1(30)	○		
	はり・きゅう総合Ⅴ	1(30)				1(30)	○		
	はり・きゅう総合Ⅵ *4	1(30)				1(30)	○		
	美容鍼灸	2(60)				2(60)			
	スポーツ鍼灸	2(60)				2(60)			
小 計			53	55(1710)	11(330)	25(750)	19(630)		
合 計			94	98(2820)	35(870)	35(1050)	28(900)		

*1 コミュニケーション含む *2 はり及びきゅうの適応の判断含む *3 臨床実習前試験含む *4 はり及びきゅうの歴史含む

【はり師及びきゅう師に係る学校養成施設認定規則外に定める授業科目以外の履修科目】

科目区分	授業科目	規定 単位	計 画 単位(時間)	1学年 単位(時間)	2学年 単位(時間)	3学年 単位(時間)	実務
アロマセラピー	アロマセラピー概論	—	2(30)	2(30)			○
	アロマセラピー実技						○
メディカルトレーナー	メディカルトレーナー概論	—	1(15)	1(15)			○
	メディカルトレーナー実技						○
小 計		—	3(45)	3(45)			

科目名： 人体構造学(前期)

授業形態： 講義

担当教員： 大竹 秀信

1単位

【授業概要】 人体の形態と構造を学び、健康と病気の成り立ちを理解するための基盤を形成することを目的とする。身体の各器官系における臓器の組織学および肉眼解剖学レベルでの形状・名称・構造・機能を学ぶ。

【到達目標】 各器官系における臓器の組織学および肉眼解剖学レベルでの形状・名称・構造・機能の理解。器官系と器官系間の関連性や全体像の把握と理解。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	内臓学概論	大竹
2	消化器(概論、口腔、咽頭、食道)	大竹
3	消化器(胃、十二指腸)	大竹
4	消化器(回腸、空腸、大腸)	大竹
5	消化器(肝臓、胆嚢、膵臓)	大竹
6	呼吸器(概論、鼻腔・副鼻腔)	大竹
7	呼吸器(咽頭・喉頭)	大竹
8	呼吸器(気管・気管支、肺)	大竹
9	泌尿器(腎臓)	大竹
10	泌尿器(尿路)	大竹
11	泌尿器(膀胱)	大竹
12	生殖器(女性生殖器)	大竹
13	生殖器(男性生殖器)	大竹
14	腹膜	大竹
15	内臓学総括	大竹
16	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「解剖学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「カラー人体解剖学」(西村図書)

【評価基準】 定期試験100%

科目名： 運動学(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 大竹 秀信

1単位

【授業概要】 身体運動のメカニズムを理解し、運動器疾患の成り立ちを理解するための基盤を形成することを目的とする。

【到達目標】 人体の基本的な運動に用いられる筋・関節の働きを理解する。東洋医学的手法に応用できる運動学的理論と手技を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	人体における基礎物理学:力と質量と加速度	大竹
2	人体における基礎物理学:速度と距離と時間	大竹
3	人体における基礎物理学:位置エネルギー	大竹
4	基礎運動学:立位姿勢保持	大竹
5	基礎運動学:立位姿勢保持	大竹
6	基礎運動学:歩行	大竹
7	基礎運動学:歩行	大竹
8	応用運動学:運動連鎖	大竹
9	応用運動学:運動連鎖	大竹
10	応用運動学:高齢者の機能訓練	大竹
11	応用運動学:高齢者の機能訓練	大竹
12	応用運動学:高齢者の機能訓練	大竹
13	応用運動学:東洋医学的手法への応用	大竹
14	応用運動学:東洋医学的手法への応用	大竹
15	応用運動学:東洋医学的手法への応用	大竹
16	定期試験	大竹

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名： 病理学(前期)

授業形態： 講義

担当教員： 小濱 公次

通年2単位

【授業概要】 正常な解剖学、生理学の話を交えながら、病的な状態の特徴を説明する。

【到達目標】 病理学を体系的に学び、様々な分野で応用できるようになる。また、国家試験にも対応できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	疾病の一般、疾病の概念、疾病の分類	小濱
2	病因①(内因:内分泌疾患)	小濱
3	病因②(外因:栄養障害、生物学的因子)	小濱
4	病因③(外因:感染、物理的因子、化学的因子)	小濱
5	免疫異常・アレルギー①(免疫のメカニズム)	小濱
6	免疫異常・アレルギー②(アレルギー)	小濱
7	免疫異常・アレルギー③(免疫不全)	小濱
8	炎症①(炎症の一般)	小濱
9	炎症②(炎症の分類)	小濱
10	炎症③(特徴的な炎症性疾患)	小濱
11	進行性病変①(再生、化生)	小濱
12	進行性病変②(肥大、増殖)	小濱
13	進行性病変③(創傷治癒、組織内異物の処理、移植)	小濱
14	復習①	小濱
15	復習②	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「病理学概論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 病理学(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 小濱 公次

【授業概要】 正常な解剖学、生理学の話を交えながら、病的な状態の特徴を説明する。

【到達目標】 病理学を体系的に学び、様々な分野で応用できるようになる。また、国家試験にも対応できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	退行性病変①(萎縮、変性)	小濱
2	退行性病変②(変性:黄疸、その他)	小濱
3	退行性病変③(壊死と死)	小濱
4	循環障害①(虚血、梗塞)	小濱
5	循環障害②(血栓症、塞栓症)	小濱
6	循環障害③(出血、充血、うっ血、浮腫、ショック)	小濱
7	腫瘍①(腫瘍の一般)	小濱
8	腫瘍②(良性腫瘍と悪性腫瘍)	小濱
9	腫瘍③(悪性腫瘍)	小濱
10	腫瘍④(悪性腫瘍)	小濱
11	先天性異常①(遺伝)	小濱
12	先天性異常②(染色体異常)	小濱
13	先天性異常③(奇形)	小濱
14	復習①	小濱
15	復習②	小濱
16	定期試験	小濱

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「病理学概論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 西洋医学の基本的診察法とその病態の疾患を学ぶ。

【到達目標】 西洋医学的な知識を勉強し、他の医療者との意思疎通が図れるようになる。
鍼灸治療の適応・不適応を判断できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	神経系の診察（感覚検査）	崎野
2	神経系の診察（反射検査）	崎野
3	神経系の診察（脳神経・髄膜刺激症状検査）	崎野
4	運動機能検査（運動麻痺・筋肉の異常・不随意運動）	崎野
5	運動機能検査（協調運動・歩行）	崎野
6	運動機能検査（整形外科的検査法等）	崎野
7	その他の診察（救急時の診察）	崎野
8	臨床検査法（一般検査①）	崎野
9	臨床検査法（一般検査②）	崎野
10	臨床検査法（一般検査③）	崎野
11	臨床検査法（血液生化学検査①）	崎野
12	臨床検査法（血液生化学検査②）	崎野
13	臨床検査法（血液生化学検査③）	崎野
14	臨床検査法（画像診断①）	崎野
15	臨床検査法（画像診断②）	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「臨床医学総論」（医歯薬出版）

【参考書名】 「整形外科テストポケットマニュアル 臨床で使える徒手の検査法86」（医歯薬出版）

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 臨床医学各論 I (前期)

授業形態： 講義

担当教員： 川畑 亜矢子

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床においては、慢性疾患をはじめ多様な基礎疾患、合併症を持つ患者にあたるのが想定される。また、患者への医療情報の提供を行う場合も予想される。これらに対し、正確な医療知識を習得する。

【到達目標】 解剖学・生理学・病理学を踏まえ、各疾患を組織・細胞レベルで理解し、他人に説明できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容		担当教員
1	感染症	総論、細菌感染症	川畑
2	感染症	ウイルス感染症、性感染症	川畑
3	消化管疾患	口腔疾患、食道疾患	川畑
4	消化管疾患	胃・十二指腸疾患	川畑
5	消化管疾患	腸疾患、腹膜疾患	川畑
6	肝・胆・膵疾患	肝臓疾患	川畑
7	肝・胆・膵疾患	胆道疾患	川畑
8	肝・胆・膵疾患	膵臓疾患	川畑
9	呼吸器疾患	感染症呼吸器疾患、閉塞性呼吸器疾患	川畑
10	呼吸器疾患	拘束性呼吸器疾患、その他の呼吸器疾患	川畑
11	腎・泌尿器疾患	原発性糸球体腎炎、腎不全、感染症	川畑
12	腎・泌尿器疾患	腫瘍性疾患、結石症、前立腺疾患	川畑
13	内分泌疾患	下垂体疾患、甲状腺疾患	川畑
14	内分泌疾患	副腎疾患	川畑
15	総括		川畑
16	定期試験		川畑

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、解剖学・生理学の復習を行っておくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学各論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

科目名： 臨床医学各論 I (後期)

授業形態： 講義

担当教員： 川畑 亜矢子

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床においては、慢性疾患をはじめ多様な基礎疾患、合併症を持つ患者にあたるのが想定される。また、患者への医療情報の提供を行う場合も予想される。これらに対し、正確な医療知識を習得する。

【到達目標】 解剖学・生理学・病理学を踏まえ、各疾患を組織・細胞レベルで理解し、他人に説明できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容		担当教員
1	代謝・栄養疾患	糖代謝異常、脂質代謝異常	川畑
2	代謝・栄養疾患	尿酸代謝異常、その他の代謝異常	川畑
3	循環器疾患	心臓疾患	川畑
4	循環器疾患	冠動脈疾患	川畑
5	循環器疾患	動脈疾患、血圧異常	川畑
6	血液・造血器疾患	赤血球疾患、白血球疾患	川畑
7	血液・造血器疾患	リンパ球疾患、出血性素因	川畑
8	神経疾患	脳血管疾患、感染症疾患、脳・脊髄腫瘍	川畑
9	神経疾患	変性疾患、痴呆性疾患	川畑
10	神経疾患	疾患、末梢性神経性疾患	川畑
11	神経疾患	神経痛、機能的疾患	川畑
12	リウマチ性疾患・膠原病		川畑
13	その他の領域	小児科、一般外科、麻酔科	川畑
14	その他の領域	婦人科疾患、皮膚科疾患、眼科・耳鼻科・精神科疾患、心療内科	川畑
15	総括		川畑
16	定期試験		川畑

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、解剖学・生理学の復習を行っておくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「臨床医学各論」(医歯薬出版)

【参考図書】 「病気がみえる」シリーズ」(メディックメディア)

【評価基準】 定期試験100%

科目名: リハビリテーション医学(前期)

授業形態: 講義

担当教員: 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 人体の正常な動作を理解し、正常な動作が行えなくなった患者に求められるリハビリテーションについて学ぶ。

【到達目標】 人体の正常な動作および病的な動きを理解し、患者のリハビリテーションの注意事項等が理解できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション	崎野
2	リハビリテーションと障害、リハビリテーション医学と医療	崎野
3	障害(心身機能)の評価	崎野
4	障害(活動・参加・合併症)の評価	崎野
5	医学的リハビリテーション(理学療法、作業療法)	崎野
6	医学的リハビリテーション(リハビリテーション看護)	崎野
7	医学的リハビリテーション(言語聴覚療法、補装具療法)	崎野
8	運動のしくみ(運動学の基礎、姿勢)	崎野
9	運動のしくみ(運動路と感覚路)	崎野
10	運動のしくみ(反射)	崎野
11	身体各部位の機能(体幹)	崎野
12	身体各部位の機能(上肢)	崎野
13	身体各部位の機能(下肢)	崎野
14	正常歩行と異常歩行	崎野
15	総括	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「リハビリテーション医学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「リハビリテーションビジュアルブック第2版」(学研) 「基礎運動学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名: リハビリテーション医学(後期)

授業形態: 講義

担当教員: 崎野 雄樹

【授業概要】 人体の正常な動作を理解し、正常な動作が行えなくなった患者に求められるリハビリテーションについて学ぶ。

【到達目標】 人体の正常な動作および病的な動きを理解し、患者のリハビリテーションの注意事項等が理解できるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	リハビリテーションの実際(脳卒中の概要)	崎野
2	リハビリテーションの実際(脳卒中のリハビリテーション)	崎野
3	リハビリテーションの実際(脊髄損傷の概要)	崎野
4	リハビリテーションの実際(脊髄損傷のリハビリテーション)	崎野
5	リハビリテーションの実際(切断の概要・リハビリテーション)	崎野
6	リハビリテーションの実際(各切断の特徴)	崎野
7	リハビリテーションの実際(小児の正常発達と代表的な疾病)	崎野
8	リハビリテーションの実際(脳性麻痺)	崎野
9	リハビリテーションの実際(頸~肩部・腰部疾患の概要とリハビリテーション)	崎野
10	リハビリテーションの実際(OA・骨折・スポーツ傷害の概要とリハビリテーション)	崎野
11	リハビリテーションの実際(関節リウマチ)	崎野
12	リハビリテーションの実際(末梢神経)	崎野
13	リハビリテーションの実際(パーキンソン病)	崎野
14	リハビリテーションの実際(呼吸器疾患、心疾患)	崎野
15	総括	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「リハビリテーション医学」(医歯薬出版)

【参考図書】 「リハビリテーションビジュアルブック第2版」(学研) 「基礎運動学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 西洋医学の観点から鍼灸の治効機序を学習し、臨床に活用できる知識を習得する。

【到達目標】 西洋医学の基礎知識を習得し、鍼灸の治効機序を理解する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(関連学説)	住吉
2	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(運動系の調節)	住吉
3	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(内臓系の調節)	住吉
4	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(体性感覚①)	住吉
5	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(体性感覚②、内臓感覚)	住吉
6	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(熱傷)	住吉
7	鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識(体表の反応)	住吉
8	鍼灸治効機序(鍼鎮痛の概要、SIA)	住吉
9	鍼灸治効機序(下行性痛覚抑制系、内因性オピオイド、DNIC)	住吉
10	鍼灸治効機序(脊髄分節性鎮痛)	住吉
11	鍼灸治効機序(末梢性鎮痛、鍼鎮痛の個人差)	住吉
12	鍼灸治効機序(循環系、運動系)	住吉
13	鍼灸治効機序(消化器系、泌尿器系、リラクゼーション、生体防御系)	住吉
14	鍼灸治効機序と臨床の接点	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「はりきゅう理論」(医道の日本社)

【参考図書】 「生理学」、「病理学」(医歯薬出版)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 経絡経穴概論Ⅱ（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 住吉 光輝

通年2単位

【授業概要】 経絡の流注や経穴の部位及び特性について理解を深め、臨床に活用できる知識を習得する。

【到達目標】 各経絡の走行について理解し、正確に取穴できるようになる。また、経絡の走行や経穴の特性を考慮し、選穴ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	オリエンテーション	住吉
2	鍼灸治療の原理と原則（補虚と瀉実）	住吉
3	鍼灸治療の原理と原則（清熱）	住吉
4	鍼灸治療の原理と原則（温寒）	住吉
5	鍼灸治療の原理と原則（標治と本治、同病異治と異病同治）	住吉
6	鍼灸処方学（選穴法、特定穴の応用）	住吉
7	手の太陰肺経絡系統（経絡概論、各種特定穴、経絡病候）	住吉
8	手の陽明大腸経絡系統（経絡概論、各種特定穴、経絡病候）	住吉
9	足の陽明胃経絡系統（経絡概論、各種特定穴、経絡病候）	住吉
10	足の太陰脾経絡系統（経絡概論、各種特定穴、経絡病候）	住吉
11	手の少陰心経絡系統（経絡概論、各種特定穴、経絡病候）	住吉
12	手の太陽小腸経絡系統（経絡概論、各種特定穴、経絡病候）	住吉
13	取穴確認①	住吉
14	取穴確認②	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」（医道の日本社）

【参考図書】 「針灸学〔臨床編〕、〔経穴編〕」、「針灸経穴辞典」（東洋学術出版社）

【評価基準】 定期試験×課題提出状況（100%）

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 経絡経穴概論Ⅱ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 住吉 光輝

【授業概要】 経絡の流注や経穴の部位及び特性について理解を深め、臨床に活用できる知識を習得する。

【到達目標】 各経絡の走行について理解し、正確に取穴できるようになる。また、経絡の走行や経穴の特性を考慮し、選穴ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	問題演習、足の太陽膀胱経絡系統（経絡概論）	住吉
2	問題演習、足の太陽膀胱経絡系統（各種特定穴、経絡病候）	住吉
3	問題演習、足の少陰腎経絡系統（経絡概論）	住吉
4	問題演習、足の少陰腎経絡系統（各種特定穴、経絡病候）	住吉
5	問題演習、手の厥陰心包経絡系統（経絡概論）	住吉
6	問題演習、手の厥陰心包経絡系統（各種特定穴、経絡病候）	住吉
7	問題演習、手の少陽三焦経絡系統（経絡概論）	住吉
8	問題演習、手の少陽三焦経絡系統（各種特定穴、経絡病候）	住吉
9	問題演習、足の少陽胆経絡系統（経絡概論）	住吉
10	問題演習、足の少陽胆経絡系統（各種特定穴、経絡病候）	住吉
11	問題演習、足の厥陰肝経絡系統（経絡概論）	住吉
12	問題演習、足の厥陰肝経絡系統（各種特定穴、経絡病候）	住吉
13	取穴確認①	住吉
14	取穴確認②	住吉
15	総括	住吉
16	定期試験	住吉

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「新版 経絡経穴概論」（医道の日本社）

【参考図書】 「針灸学〔経穴編〕」、「針灸経穴辞典」（東洋学術出版社）

【評価基準】 定期試験×課題提出状況（100%）

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 生態観察(前期)

授業形態： 講義

担当教員： 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 筋の起始停止や関節と筋の動きを把握し、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	骨学:下肢部(足根骨、趾骨)	崎野
2	骨学:下肢部(大腿骨、膝蓋骨、脛骨、腓骨)	崎野
3	骨学:下肢部(寛骨)	崎野
4	骨学:体幹部(頸椎、胸椎、腰椎、仙骨)	崎野
5	骨学:体幹部(頸椎、胸椎、腰椎、仙骨)	崎野
6	骨学:体幹部(胸骨、肋骨)	崎野
7	骨学:上肢部(肩甲骨、鎖骨)	崎野
8	骨学:上肢部(上腕骨、橈骨、尺骨)	崎野
9	骨学:上肢部(手根骨、指骨)	崎野
10	筋学:下肢部(足部)	崎野
11	筋学:下肢部(下腿部)	崎野
12	筋学:下肢部(大腿部)	崎野
13	筋学:下肢部(下肢帯周囲)	崎野
14	下肢の復習	崎野
15	下肢の復習	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「カラー人体解剖学」(西村書店)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 生態観察(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 崎野 雄樹

【授業概要】 筋の起始停止や関節と筋の動きを把握し、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	筋学:体幹部(頸部・胸部・腹部・腰部)	崎野
2	筋学:体幹部(頸部・胸部・腹部・腰部)	崎野
3	筋学:上肢部(上肢帯周囲)	崎野
4	筋学:上肢部(上腕部)	崎野
5	筋学:上肢部(前腕部)	崎野
6	筋学:上肢部(手部)	崎野
7	肩甲帯の復習	崎野
8	上肢の復習	崎野
9	上半身の復習	崎野
10	骨学:頭部	崎野
11	骨学:顔面部	崎野
12	筋学:頭部	崎野
13	筋学:顔面部	崎野
14	全身の総括	崎野
15	全身の総括	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「カラー人体解剖学」(西村書店)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 東洋医学臨床論 I（前期）

授業形態： 講義

担当教員： 原 奈摘美

通年4単位

【授業概要】 鍼灸師として必要な、診察や評価を行うための知識を身につけ、その理論を理解し、適切な施術へ活かせるよう学習する。

【到達目標】 臨床現場において、患者に対する鍼灸の適応・不適応を判断し、適切な施術が行えるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	治療総論・東洋医学としての鍼灸・健康医学としての鍼灸療法	原
2	弁証論治	原
3	治療原則	原
4	頭痛	原
5	鼻閉・鼻汁①	原
6	鼻閉・鼻汁②	原
7	咳嗽	原
8	喘息	原
9	腹痛① 上腹部痛	原
10	腹痛② 下腹部痛	原
11	便秘・下痢① 便秘	原
12	便秘・下痢② 下痢	原
13	月経異常① 経早・経遅	原
14	月経異常② 経遅・経乱	原
15	学習のまとめ	原
16	中間試験	原
17	排尿障害	原
18	E D	原
19	悪心・嘔吐①	原
20	悪心・嘔吐②	原
21	肩こり	原
22	頸肩腕痛①	原
23	頸肩腕痛②	原
24	上肢痛	原
25	腰下肢痛	原
26	膝痛	原
27	運動麻痺	原
28	食欲不振①	原
29	食欲不振②	原
30	肥満	原
31	学習のまとめ	原
32	定期試験	原

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論くはりきゅう編」（南江堂）

【参考図書】 「新版 東洋医学概論」、「新版 経絡経穴概論」（医道の日本社） 「鍼灸学[基礎編]」（東洋学術出版社）

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 東洋医学臨床論Ⅰ（後期）

授業形態： 講義

担当教員： 原 奈摘美

【授業概要】 鍼灸師として必要な、診察や評価を行うための知識を身につけ、その理論を理解し、適切な施術へ活かせるよう学習する。

【到達目標】 臨床現場において、患者に対する鍼灸の適応・不適応を判断し、適切な施術が行えるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	高血圧症	原
2	低血圧症	原
3	のぼせと冷え① のぼせ	原
4	のぼせと冷え② 冷え	原
5	不眠①	原
6	不眠②	原
7	疲労と倦怠①	原
8	疲労と倦怠②	原
9	めまい	原
10	耳鳴り・難聴①	原
11	耳鳴り・難聴②	原
12	眼精疲労	原
13	発熱①	原
14	発熱②	原
15	学習のまとめ	原
16	中間試験	原
17	胸痛①	原
18	胸痛②	原
19	脱毛症	原
20	顔面痛	原
21	顔面麻痺	原
22	歯痛	原
23	発疹①	原
24	発疹②	原
25	小児の症状	原
26	老年医学における鍼灸療法① 老年医学の特徴	原
27	老年医学における鍼灸療法② 疾患と鍼灸治療	原
28	スポーツ医学の概要	原
29	スポーツ傷害① 上肢	原
30	スポーツ傷害② 下肢	原
31	学習のまとめ	原
32	定期試験	原

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論くはりきゅう編」（南江堂） 「スポーツ鍼灸臨床マニュアル」（医歯薬出版）

【参考図書】 「新版 東洋医学概論」、「新版 経絡経穴概論」（医道の日本社） 「鍼灸学[基礎編]」（東洋学術出版社）

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

【授業概要】 各症候において実践的に臨床で使用される経穴、配穴、特効穴等を学習する。

【到達目標】 臨床実習や卒業後に治療に携わる際、患者様の主訴が鍼灸の適応か不適応かの判断ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	現代医学と鍼灸について(鍼灸の歴史・現代医学の立場からの鍼灸)	保坂
2	腰下肢痛(腰部の解剖)	保坂
3	腰下肢痛(鍼灸不適応疾患)	保坂
4	腰下肢痛(鍼灸適応疾患)	保坂
5	腰下肢痛(坐骨神経痛)	保坂
6	頭痛(鍼灸不適応疾患)	保坂
7	頭痛(鍼灸適応疾患)	保坂
8	顔面痛(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
9	歯痛(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
10	眼精疲労(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
11	鼻閉・鼻汁(解剖・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
12	脱毛症(毛髪の知識・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
13	めまい(平衡感覚について・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
14	耳鳴りと難聴(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
15	咳嗽(概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
16	中間試験	保坂
17	膝痛(解剖・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
18	膝痛(解剖・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
19	喘息(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
20	胸痛(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
21	腹痛(痛みについて・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
22	悪心・嘔吐(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
23	便秘と下痢(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
24	月経異常(種類・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
25	排尿障害(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
26	ED(概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
27	肩こり(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
28	頸肩腕痛(鍼灸不適応疾患・適応疾患)	保坂
29	肩関節痛(解剖・鍼灸不適応疾患)	保坂
30	肩関節痛(鍼灸適応疾患)	保坂
31	肩関節痛(五十肩)	保坂
32	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論くはりきゅう編」(南江堂)

【参考図書】

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上

【授業概要】 各症候において実践的に臨床で使用される経穴、配穴、特効穴等を学習する。

【到達目標】 臨床実習や卒業後に治療に携わる際、患者様の主訴が鍼灸の適応か不適応かの判断ができるようになる。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	上肢痛（鍼灸不適応疾患・適応疾患：胸郭出口症候群）	保坂
2	上肢痛（鍼灸適応疾患：その他の絞扼性神経障害）	保坂
3	上肢痛（鍼灸適応疾患：その他の絞扼性神経障害）	保坂
4	運動麻痺（概要・鍼灸不適応疾患）	保坂
5	運動麻痺（鍼灸適応疾患：脳血管障害後遺症・末梢神経麻痺）	保坂
6	高血圧（メタボリック症候群・鍼灸不適応疾患）	保坂
7	高血圧（適応疾患）	保坂
8	低血圧（概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
9	食欲不振（鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
10	肥満（概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
11	発熱（鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
12	のぼせと冷え（概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
13	不眠（概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
14	不眠（鍼灸適応疾患）	保坂
15	疲労と倦怠（鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
16	中間試験	保坂
17	発疹（概要・鍼灸不適応疾患・適応疾患）	保坂
18	小児の症状（小児疾患の特徴）	保坂
19	老年医学における鍼灸治療（高齢化社会の基礎知識）	保坂
20	老年医学における鍼灸治療（老年期の身体特性）	保坂
21	老年医学における鍼灸治療（老年者の疾患）	保坂
22	スポーツ医学における鍼灸療法（概要）	保坂
23	スポーツ医学における鍼灸療法（鍼灸治療の目的）	保坂
24	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性肩関節痛）	保坂
25	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性肩関節痛の検査法）	保坂
26	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性肘痛）	保坂
27	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性肘痛の検査法）	保坂
28	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性腰痛）	保坂
29	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性腰痛の検査法）	保坂
30	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性膝痛・下肢痛）	保坂
31	スポーツ医学における鍼灸療法（スポーツ外傷・障害：運動性膝痛・下肢痛の検査法）	保坂
32	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。（約1時間）

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。（約1時間）

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」（南江堂） 「スポーツ鍼灸臨床マニュアル」（医歯薬出版）

【参考図書】

【評価基準】 中間試験50% 定期試験50%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上

科目名： はり・きゅう応用学(前期)

授業形態： 講義

担当教員： 宮内 真喜子

通年2単位

【授業概要】 講義、実技を通し、患者さんとのコミュニケーションにおいて必要な傾聴力・発話力・意図を読み取るスキルのレベルアップを図る。また、現場で遭遇する場面を想定し敬語や電話応対、茶菓接待、面接などの接遇を実践練習の中で身につける。

【到達目標】 コミュニケーションも大切な治療の一つと認識し、臨床家としてクライアントの気持ちに添える人間力とコミュニケーション力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	自己紹介・自己分析	宮内
2	コミュニケーションゲーム① マシュマロタワー	宮内
3	コミュニケーションゲーム② パズルで共同作業	宮内
4	エゴグラム	宮内
5	VAK優位言語	宮内
6	コミュニケーションとは	宮内
7	治療におけるコミュニケーション力	宮内
8	コミュニケーション力① 信頼の段階(ミラーリング・ペーシング)	宮内
9	コミュニケーション力② 傾聴の段階(うなづき相づち・オウム返し)	宮内
10	コミュニケーション力③ 傾聴の段階(質問法・要約・共感の言葉)	宮内
11	コミュニケーション力④ 傾聴の段階(バックトラッキング)	宮内
12	コミュニケーション力⑤ 伝える段階(結論・目的・5W1H)	宮内
13	コミュニケーション力⑥ 伝える段階(メタファー)	宮内
14	コミュニケーション力⑦ 相互理解の段階(ポジションチェンジ)	宮内
15	コミュニケーション力⑧ 相互理解の段階(メタモデル)	宮内
16	定期試験	宮内

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名： はり・きゅう応用学(後期)

授業形態： 講義

担当教員： 宮内 真喜子

【授業概要】 講義、実技を通し、患者さんとのコミュニケーションにおいて必要な傾聴力・発話力・意図を読み取るスキルのレベルアップを図る。また、現場で遭遇する場面を想定し敬語や電話応対、茶菓接待、面接などの接遇を実践練習の中で身につける。

【到達目標】 コミュニケーションも大切な治療の一つと認識し、臨床家としてクライアントの気持ちに添える人間力とコミュニケーション力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	接遇① 敬語	宮内
2	接遇② 敬語	宮内
3	接遇③ 電話応対	宮内
4	接遇④ 案内の仕方	宮内
5	接遇⑤ 席次	宮内
6	鍼灸という仕事	宮内
7	セラピストとしての在り方・心がまえ	宮内
8	履歴書の書き方①	宮内
9	履歴書の書き方②	宮内
10	就職面接① 面接の種類と基礎的マナー	宮内
11	就職面接② よく聞かれる質問	宮内
12	就職面接③ 対面練習	宮内
13	就職面接④ 対面練習	宮内
14	就職面接⑤ オンライン練習	宮内
15	就職面接⑥ オンライン練習	宮内
16	定期試験	宮内

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

科目名： 応用はり・きゅう実技 I (前期)

授業形態：実習

担当教員：益山 智哉

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床に多い疾患に注目し、二人組になり医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに治療・医療面接を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	東洋医学的医療面接の仕方①	益山
2	東洋医学的医療面接の仕方②	益山
3	東洋医学的医療面接の仕方③	益山
4	各種「頸肩腕痛」の医療面接・治療①	益山
5	各種「頸肩腕痛」の医療面接・治療②	益山
6	各種「頸肩腕痛」の医療面接・治療③	益山
7	各種「肩関節痛」の医療面接・治療①	益山
8	各種「肩関節痛」の医療面接・治療②	益山
9	各種「肩関節痛」の医療面接・治療③	益山
10	各種「上肢痛」の医療面接・治療①	益山
11	各種「上肢痛」の医療面接・治療②	益山
12	各種「上肢痛」の医療面接・治療③	益山
13	各種「腰下肢痛」の医療面接・治療①	益山
14	各種「腰下肢痛」の医療面接・治療②	益山
15	各種「腰下肢痛」の医療面接・治療③	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」、「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 応用はり・きゅう実技 I (後期)

授業形態：実習

担当教員：益山 智哉

【授業概要】 鍼灸臨床に多い疾患に注目し、二人組になり医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに治療・医療面接を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	各種「膝痛」の医療面接・治療①	益山
2	各種「膝痛」の医療面接・治療②	益山
3	各種「めまい・耳鳴り」の医療面接・治療①	益山
4	各種「めまい・耳鳴り」の医療面接・治療②	益山
5	各種「肩こり」の医療面接・治療①	益山
6	各種「肩こり」の医療面接・治療②	益山
7	各種「不眠・倦怠感」の医療面接・治療①	益山
8	各種「不眠・倦怠感」の医療面接・治療②	益山
9	各種「哮喘・咳嗽」の医療面接・治療①	益山
10	各種「哮喘・咳嗽」の医療面接・治療②	益山
11	各種「鼻閉・鼻汁」の医療面接・治療①	益山
12	各種「鼻閉・鼻汁」の医療面接・治療②	益山
13	各種「下痢・便秘」の医療面接・治療①	益山
14	各種「下痢・便秘」の医療面接・治療②	益山
15	総括	益山
16	定期試験	益山

【授業外学修】 予習：講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習：授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 「新版 東洋医学臨床論〈はりきゅう編〉」、「はりきゅう基礎技術学」(南江堂) 「新版 経絡経穴概論」(医道の日本社)

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 応用はり・きゅう実技Ⅱ(前期)

授業形態：実習

担当教員：保坂 秀樹

通年2単位

【授業概要】 鍼灸臨床に多い五大疾患に注目し、二人組で医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに医療面接・治療を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	血圧測定(説明と実技-毎回授業開始時に血圧を測る)	保坂
2	医療を受けてのアンケート	保坂
3	カルテの記載事項の説明	保坂
4	医療面接について(医療面接の実際と技法)	保坂
5	医療面接について(実際に生徒同士で初診を設定に医療面接)	保坂
6	医療面接について(実際に生徒同士で初診を設定に医療面接)	保坂
7	腰痛の医療面接の進め方	保坂
8	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
9	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
10	各種「腰痛」の医療面接・治療	保坂
11	坐骨神経痛の医療面接の進め方	保坂
12	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
13	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
14	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
15	各種「坐骨神経痛」の医療面接・治療	保坂
16	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上

科目名： 応用はり・きゅう実技Ⅱ(後期)

授業形態：実習

担当教員：保坂 秀樹

【授業概要】 鍼灸臨床に多い五大疾患に注目し、二人組で医療面接・検査法・治療法を反復練習し、技術の習得に努める。

【到達目標】 基礎的な疾患をベースに医療面接・治療を反復練習し、臨床に活用する。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	膝関節痛の医療面接の進め方	保坂
2	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
3	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
4	各種「膝関節痛」の医療面接・治療	保坂
5	頸・上肢痛の医療面接の進め方	保坂
6	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
7	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
8	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
9	各種「頸・上肢痛」の医療面接・治療	保坂
10	肩関節周囲炎の医療面接の進め方	保坂
11	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
12	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
13	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
14	各種「肩関節周囲炎」の医療面接・治療	保坂
15	五大疾患の復習で医療面接	保坂
16	定期試験	保坂

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)

復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 あん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上

科目名： 臨床はり・きゅう実技 I (トリガーポイント療法) (前期)

授業形態： 実習

担当教員： 崎野 雄樹

通年2単位

【授業概要】 下肢の筋の起始停止を確認し、目的の筋を動かし、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	刺鍼練習とパルスの使い方	崎野
2	下腿部(下腿の屈筋群の触察と通電)	崎野
3	下腿部(下腿伸筋群の触察と通電)	崎野
4	大腿部(大腿四頭筋の触察と通電)	崎野
5	大腿部(ハムストリングスの触察と通電)	崎野
6	大腿部(大腿筋膜張筋・縫工筋の触察と通電)	崎野
7	大腿部(薄筋・長内転筋・大内転筋の触察と通電)	崎野
8	腰部(腰方形筋の触察と通電)	崎野
9	背部(脊柱起立筋群の触察と通電)	崎野
10	下腿部の復習	崎野
11	大腿部の復習	崎野
12	下肢の復習	崎野
13	下肢の復習	崎野
14	腰背部の復習	崎野
15	前期の復習	崎野
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「プロメテウス解剖学コアアトラス」(医学書院)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加

科目名： 臨床はり・きゅう実技 I (トリガーポイント療法) (後期)

授業形態： 実習

担当教員： 崎野 雄樹・北川 洋志

【授業概要】 肩甲帯・上肢の筋の起始停止を確認し、目的の筋を動かし、鍼灸施術に応用する。

【到達目標】 鍼灸施術を行う上で、目的の筋に刺鍼できるように的確な触察能力を身につける。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1	肩甲帯(僧帽筋・菱形筋の触察と通電と通電)	崎野
2	肩甲帯(小円筋・棘上筋・棘下筋の触察と通電)	崎野
3	肩甲帯(大円筋・広背筋の触察と通電)	崎野
4	肩甲帯(三角筋の触察と通電)	崎野
5	上腕部(上腕三頭筋の触察と通電)	崎野
6	上腕部(上腕二頭筋・上腕筋の触察と通電)	崎野
7	前腕部(前腕伸筋群の触察と通電)	崎野
8	前腕部(前腕屈筋群の触察と通電)	崎野
9	肩甲帯の復習	崎野
10	上腕部の復習	崎野
11	前腕部の復習	崎野
12	肩甲帯から上肢の復習	崎野
13	全身の触察と通電	崎野
14	トリガーポイント実技	崎野・北川
15	トリガーポイント実技	崎野・北川
16	定期試験	崎野

【授業外学修】 予習:講義に臨む前に、該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。(約1時間)
復習:授業内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。(約1時間)

【教科書名】 配布資料

【参考図書】 「骨格筋の形と触察法」(大峰閣) 「プロメテウス解剖学コアアトラス」(医学書院)

【評価基準】 定期試験100%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加(崎野)

【授業概要】 学習したことを基礎として、外来患者への施術を行う。

【到達目標】 外来患者への施術を通して、臨床技術だけでなく、医療従事者としての心構えや患者様への対応なども身に付ける。
「医療従事者には何が必要か」と、常に自分へ目標や課題を設けて実習に取り組む。

【授業の進め方】

回数	授業内容	担当教員
1・2	医療面接・評価・施術	住吉
3・4	医療面接・評価・施術	原
5	実習前確認試験	住吉・原
6・7	医療面接・評価・施術	住吉
8・9	医療面接・評価・施術	原
10・11	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
12・13	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
14・15	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
16・17	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
18・19	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
20・21	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
22・23	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
24・25	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
26・27	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
28・29	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
30・31	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
32・33	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
34・35	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
36・37	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
38・39	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
40・41	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
42・43	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
44・45	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
46・47	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
48・49	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
50・51	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
52・53	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
54・55	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
56・57	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
58・59	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	住吉
60・61	外来施術(施術後のフィードバックを含む)	原
62	定期試験(臨床実習前試験を兼ねる)	住吉・原

【授業外学修】 予習:実習に臨む前に、カルテや該当する教科書・資料等をしっかり読んでおくこと。
復習:実習内容を整理し、理解する振り返りを行うこと。

【教科書名】

【参考図書】

【評価基準】 定期試験60% レポート20% 実習態度20%

【実務経験】 はり師きゅう師養成施設教員資格、病院または施術所における臨床5年以上、週1回学外臨床参加